

主宰のことば

内海良太主宰

「万象」は、「風」の終刊のあとを受け、平成十四年四月に創刊。終刊→後継→、創刊という、よくあるパターンの一つである。

創刊主宰は滝沢伊代次、そのあと平成二十年から大坪景章が継ぎ、昨秋、創刊十五周年を機に大坪景章主宰が高齢のため退き、三代目を継いだ。

結社にはその時々々の勢いというものがある。創刊から十年目までの離陸上昇期を経て、その後静かに巡行という時期に入り、現在に至っている。

高齢化が言われる中、経営と文芸の健全なる両立に気を配りつつ、今後も創刊時の理念、俳句における文芸性の確立をバックボーンに、句作の態度・方法としての即物具象の写生を推し進めていくこととする。

理屈はさておき、作品を読む楽しみ、創作で自己を開放する喜びを十分知っている同人、会員と共に、これからの「万象」を共に歩んで行きたいと思っている。

